

## 診療予定

□外来受付時間：午前8時～午前11時（診療午前9時～）

午後（全て予約診療になります）

□休診日：土・日・祝日・振替休日

年末年始（12月29日～1月3日）

□各診療科の予約受診、及び精神科・歯科の受診については、

事前に電話連絡をお願いします。

お問い合わせ TEL：055-978-2320（代表）



## ふれあいフェスティバルが開催されました☆彡

2025年10月19日（日）、当院では「ふれあいフェスティバル」を開催しました。今年も地域の皆さんに多数ご参加いただき、病院スタッフによるフレイル講座やお薬づくり体験、ちびっこナースなど、楽しい体験ブースを通じて交流を深めることができました。参加者の皆さまの笑顔と笑い声で院内は一日中にぎやかで温かい雰囲気に包まれました。

来年も開催を予定しておりますので、ぜひお越しください。



療法部：「タオル体操」



放射線室：「エコー検査でいろいろな物を見てみよう」

ホームページをチェック!!



# ひらい750

NTT東日本伊豆病院だより

冬号

2026年1月

Vol. 24



高齢化の加速により、日本の認知症の有病率は2040年には584.2万人に達すると予測されています。

「認知症かな?」と思った時、また周りの方が「なんかおかしい」と思った時、できるだけ早くかかりつけ医師に相談することをお薦めします。

NTT東日本伊豆病院の認知症疾患センターでは、専門の相談員をはじめ、「認知症看護認定看護師」が在籍しています。

認知症に関するご相談を受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

（出典：内閣府.R6年版高齢社会白書）



・『新しい認知症観』と『認知症基本法』

・認知症は予防と早期発見・早期治療が大切

・診療予定

・ふれあいフェスティバル開催

# ◆『新しい認知症観』と『認知症基本法』

## 2025年、団塊の世代が75歳を迎えた社会へ

団塊の世代の方々が75歳を迎える節目の2025年も過ぎ、これまで以上に高齢の方々が元気に活躍する社会を目指す時代になってきました。

静岡県はその先頭を切り、『健康寿命全国1位』を達成しています。

しかし一方で、高齢になると様々な不調や疾病が増えることも事実です。

その多くは互いに関連し、元気な生活や自分らしい活動がしづらくなる要因となります。

認知症もその一つであり、社会の高齢化に伴い、誰しもが認知症になりうる時代になってきました。

出典：厚生労働省「都道府県別健康寿命（令和4年）」

## 認知症の有病率は減少傾向

驚くべきことに、認知症の有病率はこの10年間で減少しています。（下図参照）

理由は明確ではありませんが、禁煙の浸透、運動習慣の定着、高血圧・糖尿病・歯周病の管理の進展などが影響していると考えられます。

つまり、疾病のコントロールや生活習慣の工夫で認知症の発症を減らせることが明らかになってきました。さらに、認知症バリアフリーの環境や機器の工夫により、認知症のある方が活躍できる場も増えています。

## 新しい認知症観と法律の施行

このように、認知症について正しく知ることはとても重要です。

▶誰しもがなりうる

▶しかしリスクは減らせる

この知見を踏まえた『新しい認知症観』を広く国民に知ってもらい、認知症になんでも安心して暮らせる社会を実現するため、「認知症基本法（正式名称：共生社会の実現を推進するための認知症基本法）」が2024年1月1日に施行されました。

法律の骨子は7つの柱で構成されています。（下表参照）

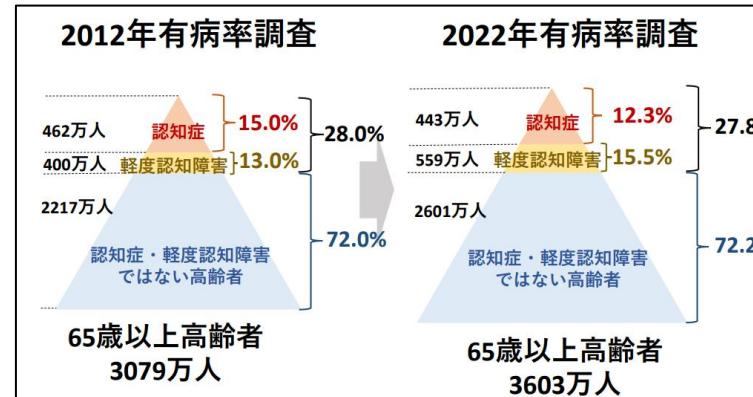
## 認知症基本法の認知度はまだ低い

しかし、この法律を知っている方はまだ約2割にとどまっています。

多くの人にこの考え方を知っていただき、認知症になんでも安心して暮らせる地域社会と一緒に実現ていきましょう。

出典：内閣府「認知症に関する世論調査」（令和7年8月21日～9月28日）

図：認知症の有病率



表：認知症基本法の骨子

- ① 認知症の人が尊厳を保持しつつ、希望を持って暮らせる共生社会の実現を目指す
- ② 認知症の人や家族の意見を聞いた上で基本計画を策定する
- ③ 交通・金融機関や小売業者など、必要かつ合理的な配慮を実施する
- ④ 認知症の人にとって生活の障壁を取り除く
- ⑤ 認知症の人や家族に対する支援により、地域で安心して日常生活を営むことができる
- ⑥ 国民への認知症教育を推進する
- ⑦ 認知症の予防、治療、介護方法、社会参加のあり方などに関する研究を推進する

# ◆認知症は予防と早期発見・早期治療が大切

## 認知症の主なタイプ<sup>†</sup>

アルツハイマー型認知症	認知症全体の約7割を占め、脳の神経細胞が徐々に減少する記憶障害や判断力の低下などが主な症状
血管性認知症	脳梗塞、微少脳梗塞や脳出血などが原因で起こる症状は脳の損傷部位によって異なる 言語障害などを伴うことがある
レビー小体型認知症	レビー小体型という特殊なタンパク質が脳にたまることで起こり、幻視やパーキンソン症状、レム睡眠障害などがみられる
前頭側頭型認知症	前頭葉や側頭葉が萎縮することで、行動や感情、言語などに変化が現れる

## 認知症の初期症状は？

（大友式認知症予測テスト参照）

1. 同じ話を無意識に繰り返す
2. 知っている人の名前が思い出せない
3. 物のしまい場所を忘れる
4. 漢字を忘れる
5. 今しようとしていることを忘れる
6. 器具の説明書を読むのを面倒がる
7. 理由もないのに気がふさぐ
8. 身だしなみに無関心である
9. 外出をおっくうがる
10. 物（財布など）が見当たらないことを他人のせいにする

5個以上頻繁にあるなら要注意  
7個以上頻繁にあるなら相談を



## 認知症かな？と思ったら

認知症の早期診断・早期治療につなげるために、自分自身のほか、家族・同僚・友人など周りの人について「もしかして認知症では」と思われる症状に気付いたら、一人で悩まずに相談しましょう。

## 認知症に関する相談先

まずは、かかりつけ医に相談してみましょう。さらに専門的な診断が必要な場合は、認知症疾患医療センターへ紹介してもらいましょう。その他にも地域で相談を受けている地域包括支援センターなどへ相談することもできます。

## 認知症の予防

認知症の多くを占めるアルツハイマー型認知症や血管性認知症は、生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症など）や難聴などと関連があるとされています。

例えば、バランスの良い食事を心掛け、定期的な運動習慣を身に付ける、補聴器を使用するなど、普段からの生活管理が認知症のリスクを下げる考え方られています。

【引用】

平成23年度 厚生労働科学研究費補助金 認知症対策総合研究事業「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」（研究代表者 筑波大学 朝田隆）

令和5年度 老人保健事業推進費等補助金「認知症及び軽度認知障害の有病率調査並びに将来推計に関する研究」（研究代表者 九州大学 二宮利治）